

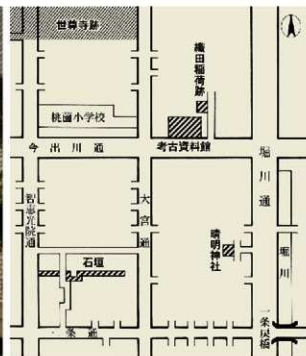
考古資料館周辺散策

<http://www.kyoto-arc.or.jp>

(財)京都市埋蔵文化財研究所・京都市考古資料館



考古資料館前に建つ「西陣」の石碑



考古資料館周辺マップ 桃圃小学校は現在、西陣中央小学校。

考古資料館内の静寂の中で京都市内から出土した遺物にふれ、いにしえの人々の生活に想いを巡らせて外に出ると、今出川通沿いに建ち並ぶビルと車の騒々しさに想いが醒めてしまいます。

そこで、この資料館の周辺に考古学にまつわるものはないか、歩いてみることにしました。

世尊寺跡

明治二年に開校した桃圃小学校の前から大宮通を北へ向かうと、五辻通との交差点があります。

『宇治拾遺物語』(鎌倉時代)の巻六に「世尊寺に死人を掘出事」という話があります。「平安時代に藤原伊尹という貴族の住む邸内に古墳があり、そこに仏堂を建てよ

うと古墳を取り壊したところ、中から石棺が現われ、美女の死体と金の器や宝物が置かれていたが、突然の風によって金の器だけを残して消え失せてしまった」というような内容です。この物語が最古の古墳発掘の記録だとの評価を与えている人もいます。後にこの邸内に伊尹の孫の行成が世尊寺を建立します。高橋康夫氏の説によると、この寺があったとされるのがこの交差点より北西の付近です。

聚楽第の濠跡

大宮通を南へ行き、一条通の北の通りを入れて行くと南側に小さな路地があります。そこを入れて行くと階段があり、降りると左手に石垣が現われます。また、右手

には駐車場があり、この駐車場の北側の民家が1m程高く段になって、所々に石垣が見えます。この段は東西方向に智恵光院通から大宮通付近まで続いています。

1987年、この段の南側で調査が行なわれ、濠跡が段に沿って検出されました。濠の深さは3m以上で、幅は11mありました。濠の南側の肩には石垣の裏込めに使用したと思われるものがありました。石垣は確認できませんでした。

この濠は出土した遺物から、天正十五年(1587)に豊臣秀吉が開白邸として築いた城郭、聚楽第の濠跡であると考えられます。

聚楽第の位置には種々の説がありますが、『山城名勝誌』(寛永二年)



一条戻橋と一条通



今宮神社に移った織田稲荷

によると、東は大宮通、西は朱雀（千本通）、南は春日（九太町通）、北は一条通となっています。この調査によって確認した漆跡は聚楽第の北側漆と考えられます。

漆を確認したことにより、北側の段は漆の北屑であり、また現存する石垣も聚楽第に関するものだと思います。

秀吉は天皇家との親交を深め政権の安定をはかり、また権力を誇示するために、都である京都に邸を築き、大阪城から聚楽第に移ったのです。

聚楽第は後に、秀吉から甥の秀次に閑白の地位とともに引き継がれますが、文禄四年（1595）に秀次が自害させられた同じ月、造営した秀吉の命令によって、わずか8年で大部分が破却されてしまいました。

一条大路と戻橋

石垣の見える駐車場から智恵光院通に出て、南へ行くと、一条通と交わります。この通りこそ平安京の北限の一条大路の今日の姿です。平安時代の一条大路は、幅約30 mの大きな通りでしたが、

千二百年の時の流れの中で約4 mの狭い通りになりました。

一条通を東へ行くと、やがて堀川通に出、この通りを渡ると堀川に架かる小さな橋があります。これが、平安時代の陰陽師（呪術師）安倍晴明が妖怪たちを隠していたという一条戻橋です。

この一条戻橋は、考古学にも一役買っている橋です。平安京の復元図を作成するにあたり、この橋の位置を平安京の北限として復元しています。これによって作成された平安京の復元図は、平安京城の調査・研究の上で欠かせない資料となっています。

一条戻橋から堀川通を北へ行くと左手に安倍晴明を祀った晴明神社があり、さらに北へ行くと今出川通との交差点に出会い、西へ行くと資料館に戻ります。

阿弥陀寺跡と織田稲荷跡

資料館の建つこの地には、戦国時代に阿弥陀寺があり、本能寺の変で倒れた織田信長とその家臣の遺体を運び葬った所だそうです。寺と墓は秀吉の都市改造で、現在の上京区鶴山町に移されますが、

信長ゆかりの地としてその跡には織田稲荷が建てられました。明治十五年（1882）に建勲神社の御旅所となりましたが、やがて御旅所は無くなり、織田稲荷も1987年に今宮神社に移され、この地には信長を憶ぶものがすべて失われてしまいました。

西陣

このあたり一帯は西陣と呼ばれており、この資料館も以前は西陣織物館でした。この西陣の名前は応仁の乱（応仁元年～文明9年、1467～77）で堀川をはさんで東軍と西軍がにらみ合った時、山名宗全ら西軍がこの地に陣を構えたことに由来しています。東軍の陣のあった相国寺付近では、調査によって、当時の遺構・遺物がみつかっています。

世尊寺跡や西陣のあったこの資料館周辺は、遺跡指定地からはずれた所にあり、調査はほとんど行なわれていません。今後、歴史を証明するような遺構や遺物が、この付近から発見されるかも知れません。調査が望まれます。

（吉本健吾）